

女性部だより

大阪労連女性部第36回定期大会

強烈に暑かった夏の名残りのような日差しが照る9月23日(火)。13時から大阪国会会館において大阪労連女性部第36回定期大会が開催され、府本部女性部からは5人が参加しました。今年の7月行われた参院選では、野党の目覚ましい躍進によ

大会の感想

● 労連女性部大会に参加し始め3年になると、少し慣れてきて、内容もよく理解出来るようになってきた。今回は年金者組合女性部委員の渡辺弁護士

大会で発言する渡辺和恵弁護士



り自公を過半数割れに追い込み首相が引責辞任に至ったまでは良かった。しかし物価高騰は止まず、

● 私は弁護士になって50年、労連の女性の皆さんと労働運動に参加してきましたが、会場にはどなたも顔見知りがなく、女性の労働運動の世代交代を感じました。ただ、発言する各分野でのテーマは基本的に同じで、自公政権が庶民の生活を踏みつけにして、アメリカ、大資本の言いなりの中で、懸命に力を尽くせて頑張つて、日々課題に取り組んでいる若い人達の姿を見て、国会会館には本当に何度も足を運んで議論し



たことを懐かしく思い出しました。柏原女性部長に「会場で発言を求められたら、渡辺さんやってきてね」と言われていました。議長団から「最初に挙手して下さい」と言われ、挙手して発言し

てきました。

「各組織の様子」を次々と皆さんは報告されました。私は「指名があれば、年金裁判で国側の主張であった「老人世代が若い世代の負担になってはいけない」と両者を分断する攻撃をしていくことに対して、年金者と現役労働者が手を組んで対抗することが必要で、今日のような交流が不可欠だと話そうと思っていました。」「発言は6分」の制限の中で触れることが出来ませんでした。議案書には「各組織の活動の様子を紹介する文」が掲載されていましたが、年金者組合は無かったのが急遽、発言内容の心づもりを変更して概要を話しました。

大阪年金者組合員は8000人以上で半分以上が女性であること、活動の基本姿勢は高齢者になると人との交流が疎遠になりがちなので集まって話をして元気をもらおうと、女性部をどの支部でも作ろうと力を入れていくこと、ジェンダー平等

のテーマは高齢者の中でも重要で、女性部はそれに挑んでいる、などの話をし、年金者組合自身が



の報告に共通しているのは今の政治のあり方です。それぞれが要求実現に向け粘り強く戦うことが大切です。対話し学び合い仲間を増やして平和と暮らしを守る政治の転換を目指し女性のパワーを発揮しようと呼びかけ合いました。

交野支部 信藤 恵子

● 2026年の労連女性部のスローガンは大軍拡、戦争は許さない。平和・命・暮らしを守り憲法が生きる政治を。ハラズメントを無くしジェンダー平等の実現を。カジノIRは中止を。労働法制改善に反対し対話し学び合いで仲間を増やし要求を実現しようでした。労連も年金者組合も仲間増やしは大切でお互い手を携え励ましあつて運動をすすめたいと思います。

豊中支部 入江 いづみ

浪速支部 渡辺 和恵

お知らせ

第4回女性部委員会
令和7年11月19日(水)
13時30分〜グリーン会館
宣伝行動有り